

平成30年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		H30年度計画		実施状況		評価			
I 文化事業目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価		
1 自然環境や空間特性を生かし、社会的包摂を意識し幅広い市民が能楽等を知り、学ぶことができる事業の実施	「日本舞踊 素敵なお話と優雅な舞」	■実施時期	4月	4月22日	-	【成果】 ・日本舞踊基礎講座、能楽講座新規受講生獲得のためのワークショップ型公演として実施。 ・「所蔵能装束公開展示」では茶の湯と囃子の演奏を実施。装束の説明パネルには英文表記を追加し、幅広いお客様に楽しんでいただけるよう工夫した。無料で開放したことで、初めて来館されるお客様が多く、知名度の向上につながることができた。 ・「葵上」の能公演では、演じているのはどの場面なのか分かるよう、場面解説のハンドブックを配布。シーンに合わせてめくりをめくることで手元のハンドブックでシーンを確認できる仕組みを作成。お客様にも大変ご好評頂けた。 ・「久良岐ワールド」では、環境を活かした落ち着いた空間を提供。茶の湯とクラシックコンサートでゆったりした時間を過ごしていただいた。普段の公演とは別の客層の方々にお越し頂けたので、これを機に貸館利用が増加することを期待している。	【評価できる点】 ・「所蔵能装束公開展示+謡・仕舞」においては、達成指標を大きく上回る実績をあげるとともに、久良岐能舞台へ来館することのなかった層へ働きかけるなどの成果をあげたことを評価します。 ・事業において、積極的にアンケートを回収し、来館者のニーズに応じた事業を実施していることを確認しました。特に、施設特性や規模を生かした能の公演を継続的に開催していることを高く評価します。また、能の公演の事前ワークショップを開催するとともに、公演時には解説のハンドブックを工夫して作成することで、能楽鑑賞の初心者等にも対応していることを評価します。 ・「KURAKIスペシャルコンサート」など、能楽等の古典芸能と他の芸術分野のアーティストとのコラボレーションを行うことにより、能楽等に親しみかけの提供を行うとともに久良岐能舞台の認知度向上を進めていることが確認できました。 ・地域を中心とした子供たちが能楽等に触れる機会として、横浜市芸術文化教育プラットフォームと連携したアウトリーチ事業として、本物の能舞台での鑑賞機会の提供をするなど、積極的な対応の継続を高く評価しています。事業の内容についても、身近に感じる機会の少ない能や古典芸能に親しみやすい内容にすることや、学校で扱うにあたって適切なサポートを行っていることが確認でき、事業の趣旨や目的が達成できていると考えます。 ・利用団体の活性化に向けた支援を行い、各団体の参加に繋げるなどの成果を上げたことを評価します。 ・古典芸能の愛好者の育成に寄与するため、能楽等を鑑賞するだけでなく、実際に体験し、継続的に稽古をする機会の提供を継続していることが確認できました。 ・ウェブサイトやダイレクトメール等の活用、様々な工夫を行うことにより、施設や事業の魅力を伝えるための情報発信を積極的にを行い、リピーターの増加等の効果をあげていることを評価します。		
		□参加者数	50名	37名	C				
		□顧客満足度	90%以上	100%	A				
		□顧客満足度	90%以上	100%	A				
		■実施時期	5月	5月6日	-				
		□参加者数	40名	31名	C				
	「竹灯籠まつり」	■実施時期	年度途中で実施	2月5日	-	・「久良岐ワールド」では、環境を活かした落ち着いた空間を提供。茶の湯とクラシックコンサートでゆったりした時間を過ごしていただいた。普段の公演とは別の客層の方々にお越し頂けたので、これを機に貸館利用が増加することを期待している。	・「久良岐ワールド」では、環境を活かした落ち着いた空間を提供。茶の湯とクラシックコンサートでゆったりした時間を過ごしていただいた。普段の公演とは別の客層の方々にお越し頂けたので、これを機に貸館利用が増加することを期待している。		
		□参加者数	-	90名	-				
		□顧客満足度	-	94%	-				
		■実施時期	9月	9月2日	-				
		□参加者数	50名	138名	A				
		□顧客満足度	90%以上	100%	A				
1 能楽等を知り、親しみ、体験することができる機会の提供	「能の魅力発信プロジェクト 能 葵上」	■実施時期	1月	1月27日	-	・「KURAKIフィーチャリング 森 弘一郎～スペシャルゲスト(金春流能楽師)山井 綱雄」では、海外で活躍するパフォーマーを呼んで、能楽師、KURAKIのユニットとのコラボレーションを実施。能楽の新たな広がりを模索した。お客様からは大変好評をいただき、チケットも1か月前には完売した。	・「KURAKIフィーチャリング 森 弘一郎～スペシャルゲスト(金春流能楽師)山井 綱雄」では、海外で活躍するパフォーマーを呼んで、能楽師、KURAKIのユニットとのコラボレーションを実施。能楽の新たな広がりを模索した。お客様からは大変好評をいただき、チケットも1か月前には完売した。		
		□参加者数	100名	102名	B				
		□顧客満足度	90%以上	100%	A				
		■実施時期	3月	3月17日	-				
		□参加者数	100名	117名	A				
		□顧客満足度	90%以上	100%	A				
	「第11回久良岐狂言会」	■実施時期	12月	12月2日	-			・4月、5月に開催の日本舞踊及び謡・仕舞・囃子の体験講座は参加者が少なく、この催事を通じて講座を受講される方も少ない。今後はチケットの料金を安くして広く周知したり、目を引くようなパフォーマンスで興味を持たせるなど、募集の方策を再検討する。	・4月、5月に開催の日本舞踊及び謡・仕舞・囃子の体験講座は参加者が少なく、この催事を通じて講座を受講される方も少ない。今後はチケットの料金を安くして広く周知したり、目を引くようなパフォーマンスで興味を持たせるなど、募集の方策を再検討する。
		□参加者数	50名	79名	A				
		□顧客満足度	90%以上	100%	A				
		■実施時期	4月	4月8日	-				
		□参加者数	80名	97名	A				
		□顧客満足度	90%以上	100%	A				
「KURAKIスペシャルコンサート ゲスト:森 弘一郎～」	■実施時期	7月	7月22日	-	・新規顧客獲得のために実施。久良岐の環境を活かし、茶会とクラシックコンサートを実施。	・新規顧客獲得のために実施。久良岐の環境を活かし、茶会とクラシックコンサートを実施。			
	□参加者数	80名	140名	A					
	□顧客満足度	90%以上	98%	B					
	■実施時期	1月	1月13日	-					
	□参加者数	40名	40名	B					
	□顧客満足度	90%以上	100%	A					
4 ワークショップ等による能楽等の市民の関心や興味を広げる普及啓発事業の実施	■実施時期	10月	10月21日	-	・公演前にシテを勤める能楽師と解説者により詳しく学べるワークショップを実施。	・公演前にシテを勤める能楽師と解説者により詳しく学べるワークショップを実施。			
	□参加者数	100名	61名	C					
	□顧客満足度	90%以上	97%	B					
	■実施時期	10月	10月21日	-					
5 愛好家未満の立ち位置にある市民へのアプローチ	□参加者数	100名	61名	C	・地域市民と協働して開催する久良岐まつり20日は能舞台の市民利用の日、21日は能舞台でのコンサートを実施した。	・地域市民と協働して開催する久良岐まつり20日は能舞台の市民利用の日、21日は能舞台でのコンサートを実施した。			
	□顧客満足度	90%以上	97%	B					
	■実施時期	10月	10月21日	-					
	□顧客満足度	90%以上	97%	B					

平成30年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

2 子どもたちへの文化芸術へ触れる機会の提供、能楽等の継承のための取組	6 地域コミュニティを巻き込んだ、インリーチ事業等による、能楽等の伝統芸能の体験講座の実施	「小学校向け狂言鑑賞教室」 ※ 磯子区・港南区・南区の公立小学校6年生対象			-	費用全額指定管理者負担による教育支援事業として実施。
		■実施時期	11月(3日間)	11月12日、16日、26日	-	1日3回(午前2回、午後1回)実施。
	□参加者数	1,200名以上	参加校:17校 1358名	A	参加校は各区校長会で決定するため、組合せで参加生徒数が変わるが、今年度は毎回130名以上の参加があった。	
	□顧客満足度	90%以上	100%	A	終了後、各校先生方にヒアリング。大変ご満足いただけた。	
7 横浜市芸術文化教育プラットフォーム等のアウトリーチ事業により、幅広い子どもたちへの能楽等体験事業の実施	「狂言鑑賞教室」				-	アウトリーチ事業
	■実施時期	参加希望校と調整	9月11日、10月22日、10月29日、11月21日	-	久良岐能舞台受託校数:5校	
	■参加者数	参加希望校による(5校程度)	参加校:5校 458名	-	狂言「柿山伏」の芸術鑑賞及び狂言体験講座を開催。久良岐能舞台のコーディネーター担当は7度目。	
	□顧客満足度	90%以上	—	-	終了後、各校先生方にヒアリングを実施。大変ご満足いただけた。また、生徒からお礼の手紙もいただいた。	
3 能楽等の稽古、発表その他の活動支援の取組	8 能楽等の稽古、発表等の活動支援に向けた外部専門家による助言・指導体制等の確保	■それぞれの講座に各流儀の能楽師を指導者に迎えて実施(日本舞踊講座においても同様)	実施	達成	-	流儀ごとの専門家を講師として迎えた。講座、流儀ごとのお稽古・発表会にて適切に助言・指導を実施。
		9 利用者情報、活動継続に向けた情報の提供等による活動支援の実施	■利用者情報の提供	実施	達成	-
	10 利用者団体の会員募集支援など新たな愛好者の発掘等による利用者団体の活性化の実施	■利用者団体の会員募集支援	実施	達成	-	施設を定期的に利用する団体の意向に沿い、主催事業に会員募集のチラシを配布、HPへの情報掲載等を実施。
4 能楽等の技術研鑽・育成支援への取組	11 能楽等の伝統芸能のすそ野を広げる様々な市民向けの謡曲・仕舞・囃子講座等の実施	「久良岐能楽教室 謡・仕舞」(初級) ※ 喜多流、金春流、宝生流の3流で開催				
		■実施時期	6月から通年	6月から通年実施		
		□参加者数	各流5名以上	延べ233名		
		□顧客満足度	90%以上	100%	A	受講生にヒアリングを実施。
		「久良岐能楽教室 謡・仕舞」(中級) ※ 喜多流、金春流、宝生流の3流で開催				
		■実施時期	4月から通年	4月から通年実施		
		□参加者数	各流5名以上	延べ567名		
		□顧客満足度	90%以上	100%	A	受講生にヒアリングを実施。
		「久良岐能楽教室 囃子」				
		■実施時期	7月から12月	7月から12月		
	□参加者数	10名以上	延べ68名			
	□顧客満足度	90%以上	100%	A	受講生にヒアリングを実施。	
	「日本舞踊基礎教室」 ※2年制					
	■実施時期	6月から通年	6月から通年実施			
□参加者数	10名以上	延べ76名				
□顧客満足度	90%以上	100%	A	受講生にヒアリングを実施。		
12 能楽等の経験者を対象とした講座の実施による、ステップアップのための指導体制を設定	「久良岐能楽教室 囃子合奏研究会」(上級)					
	■実施時期	10月から12月(原則 毎月4回)	開催なし	C	講師諸事情により開催なし	
	□参加者数	12名以上		C		
	□顧客満足度	90%以上		C		
13 能楽等の講座受講者・愛好者等の活動発表の場を提供、積極的な担い手育成の実施	「日本舞踊基礎講座受講生発表会」					
	■実施時期	10月13日	10月13日、3月24日	-	日本舞踊基礎講座受講生の発表会を実施。	
	□参加者数	40名以上	84名	A	10月と3月の2回実施。多くの方に見学していただいた。	
	□顧客満足度	90%以上	100%	A	受講生・来館者にヒアリングを実施。	
	「久良岐能楽講座受講生研鑽会」					
	■実施時期	12月9日、16日、22日	12月16日、22日、1月13日	-	能楽講座・囃子講座受講生の発表会を各流で実施。	
	□参加者数	50名以上	76名	A	受講生が知人等を招待したおかげで、予定を上回る盛況だった。	
□顧客満足度	90%以上	100%	A	受講生・来館者にヒアリングを実施。		
■能楽や日本舞踊等の伝統芸能を学ぶ講座受講生や愛好者に活動の成果を発表する場として久良岐まつりイベントなどを設定し、伝統芸能の積極的な担い手として育成	実施		12月16日、22日、1月13日	-	・日本舞踊基礎講座受講生発表会 10月13日 参加者数39名 ・宝生流研鑽会 12月16日 参加者数45名 ・金春流、囃子研鑽会 12月22日 参加者数30名 ・喜多流研鑽会 1月13日 参加者数18名	

【成果】
・小学校向け狂言鑑賞教室は費用全額指定管理者負担による教育支援事業として実施。動画を撮影して授業の際に教材として使われる先生もあり、より具体的なイメージを持って日本の文化を学んでいただくことができた。
・横浜市芸術文化教育プラットフォームのアウトリーチ事業に伝統芸能コーディネーターとして参加しており、小学校向け狂言鑑賞教室と同等の内容を参加校において実施した。伝統芸能のなかでも狂言鑑賞を希望する学校が多い反面、伝統芸能(狂言)を扱うコーディネーターは少ないため、久良岐能舞台で5校の学校を受け持つことで、学校側、横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局の双方に大変喜んでいただくことができた。

【課題】
・小学校向け狂言鑑賞教室は引き続き実施する。これまでの狂言鑑賞教室は当社による企画を実施してきたが、今後、演目や狂言の体験方法について等、学校側の意向を調査し、事業に反映させることを検討する。

【成果】
・久良岐能舞台で行われている全ての能楽等(日本舞踊を含む)の稽古、発表等の活動について、専門家による指導・助言体制を確立している。
・利用者情報、活動継続に向けた情報の提供や支援として、HPに情報を掲載したり、興味を持たれる方へ活動団体の紹介を行ったりしたこと、約10人の方を各団体へ御紹介することができた。特に、お茶を習いたいという方が多かったので、団体に紹介することで活動が活発になり、茶室の稼働率増加にもつながったのではないかと考えられる。

【課題】
・伝統芸能の愛好者減少傾向の中、特に能楽等の利用者団体の活動支援、活性化に関し、より具体的な成果を得られる方策を検討する。

【成果】
・高齢化が著しい能楽愛好者の減少に対応して、若返りや新たな愛好者の育成を図るための事業として平成23年度から始めた能楽講座に関しては、謡・仕舞講座で6度目の修了者を出し、公共施設においては能界で初めての通年型養成講座として注目を集めた。また、講座を継続することにより、研鑽会(発表会)において、受講生のみで舞囃子を行うという目標も達成することができ、能楽愛好者の育成に寄与することができた。
・講師の能楽師と共に設定した目標水準である、受講生による舞囃子の実現を、昨年度に続いて今年度の研鑽会においても、シテ方各流で実施、謡、仕舞、囃子の各講座で達成することができた。
・講座修了者の多くは引き続き当館において稽古に励んでおり、能楽愛好者の育成に貢献した。
・日本舞踊を含め、能楽等の全ての講座を対象にステップアップのための指導体制を確立している。
・能楽講座の受講者数は毎回約5名以上は参加し、初級講座においても新たな受講生を取り入れることができた。

【課題】
・能楽講座や日本舞踊基礎教室においては、現受講生は過程を修了し、当館事業とは別に各講師に師事を仰ぎ、稽古に励んでいる。そのため毎年新たに受講生を取り入れる必要がある。年々能楽愛好者が減少している中で毎年新たな受講生を見つけるのは難しいが、チラシの配布先を変更したりスタンプカードや支払い方法についての見直し等を検討し、受講生獲得に向けた工夫を行う。

平成30年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

5 能楽等と市民を結びつけるための情報提供及び広報・プロモーション活動の実施	14 WEB ページ等による施設案内、講座情報等の積極的な情報発信の実施	■情報提供サイト上に、施設案内情報、施設利用情報、自主事業情報等を掲載	実施	達成	-	HPにて施設の紹介、各種情報提供を実施。	【成果】 ・WEBサイトは常に最新情報に更新すると共に、職員によるスタッフブログ等での馴染みやすい記事とすることに努めた。その結果、WEBページの閲覧数は、9月分がサーバ移管のため集計できず数値に含まれていないものの、前年度の実績を上回ることができ、より多くの方に情報発信することができた。引き続き、分かりやすい情報発信と常に動きのあるWEBサイトの運用を心がける。 ・自主事業等の情報提供はWEBサイトの他、訴求力があるチラシ制作を心がけ、市内外の公共施設、文化施設、鉄道駅等着目されやすい場所にチラシ配架を行う他、近隣地域では公共及び自治会掲示板等にも掲示して市民の身近な場所での情報提供に努めた。その結果、公演におけるお客様アンケートでは、初めての来館者が42.5%に対して、2回以上の来館者が57.5%と、複数回の来館者が昨年度に比べて6.5%増加した。 ・公演におけるお客さまアンケートの回収率は、職員の呼びかけにより、平均58.8%の回収率となり、多くのお客さまのご意見を集めることができた。 ・個人情報保護や人権侵害について、年1回の社内研修を実施し、職員の意識向上を図って、適切な施設運営に努めた。
		■ホームページ上の掲載情報は常に最新の情報に更新	実施	達成	-	・年間HPアクセス数106,568件 ・スタッフブログ花頭窓アクセス数7,584件	
	15 紙資料、ICT等を活用し、より身近に感じられるような広報・プロモーションの実施	■チラシやホームページ上への掲載、新聞等のマスメディアを通じた広報等、様々な方法、メディア等を通じて市民の目に触れる機会の拡充	実施	達成	-	・自主事業情報等を各種媒体に掲載 TV1件、フリーペーパー3件、広報よこはま5件、ヨコハマ・アートナビ1件 ・自主事業等のチラシ配架 合計249か所 ・DM配信 年5回実施 配信数4,951通 ・他施設の情報提供 伝統芸能関係139件ほか426件	
		■ICTの進展に添ってより多くの通信系メディアによる情報アプローチにも応えられるように検討	実施	検討実施	-	・Youtubeに公演の様子や施設の案内動画を掲載。	
16 魅力的で訴求力があり、丁寧で分かりやすい情報提供の実施	■丁寧で分かりやすい内容を併せた、訴求効果のある情報提供を推進	実施	達成	-	・魅力が感じられるHPの運用。 (映画製作会社、放送用CM制作会社、映像コンテンツ制作会社等から数件の引き合いあり。)		
17 人権侵害や個人情報漏えい等への適切な配慮	■個人情報の漏洩や利用者、市民の人権を侵害することが無いように適切な運営管理を実施	実施	達成	-	利用者や参加者に関する情報等、個人情報や人権に関する事項に適切に配慮し、運営を実施。		
6 能楽等に関する地域との連携、事業の実施	18 施設と地域の相乗効果を発揮し、能楽施設に親しみ、伝統芸能の楽しさを味わうための事業の実施	「第12回久良岐まつり」			-		【成果】 ・「第12回久良岐まつり」は地元市民との連携・協働により開催した。地域市民による音楽発表など、多彩な番組が能舞台、庭園仮設舞台の両方で賑やかに行われた。 【課題】 ・久良岐まつりのみならず、市内の施設との事業連携を行うことを検討する。近隣施設と連携を行うことで、新たな事業の幅が広がり、互いの施設の稼働率・事業参加率増加のための対策についても共に検討していく。
		■実施時期	10月20日・21日	10月20日、21日	-	毎年、地域市民と協働して開催。	
		□参加者数	2,000名以上 (プレイベント参加者数を除く)	1,500名	C	天気も良く、過ごしやすい気温ではあったが、来場者は例年より少なかった。	
		□顧客満足度	90%以上	97%	B	能舞台催事のアンケート結果。回収率は76.7%	
	19 市民協働の視点による企画、運営、清掃等のサポートスタッフの活用・発展等の実施	■市民協働の運営	実施	実施	-	サポートスタッフによる運営への協働実施 事業運営: 自主事業実施時1名、庭園清掃: 16名	
	20 本社のノウハウの横展開、他の古典芸能施設、市その他施設・事業等との連携拡大に向けた取組	■他の古典芸能施設や横浜市の事業等との連携に取組み、または検討	実施	実施	-	磯子公会堂での狂言公演を後援。	
21 その他	「ガーナ伝統音楽&舞踊」						
	■実施時期	年度途中で実施	9月22日	-	市の共催は得られなかったが、「第7回アフリカ開発会議」関連事業として実施。		
	□参加者数		55名		幅広い年代の参加があった。初めて事業に参加された方が約5割を占めた。		
	□顧客満足度		100%		アンケート回収率70.9%		

平成30年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		H30年度計画		実施状況		評価		
II 施設運営目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価	
1 能楽等の稽古、発表その他の活動への施設の提供に関する取組	1 公共施設としての公平・公正かつ能舞台としての利用ルールの徹底等による適切な貸出業務の実施	■施設利用や提供について公平・公正に運用	実施	実施	-	横浜市の公共施設として公平・公正に運用。	【成果】 ・自主事業の広報のみならず、外部からの問い合わせにも積極的に協力したり、竹灯籠の点灯日を告知する等、様々な機会を利用して施設の周知に努め、利用率の向上を図った。 ・諸室の利用について営業を実施したり、利用者による口コミで、24団体の新規利用を獲得した。 ・能舞台の利用率は各利用団体の高齢化に伴う人数縮小・活動頻度の減少による影響で、目標に届くことができなかった。 【課題】 ・施設の知名度向上を図るため、伝統芸能以外にもコンサートや講演等、様々な事業を検討していく。また、併せて能舞台周辺の環境整備も進めていきたいと考えている。 ・平日午後・夜間区分と比べ、平日午前中の利用が極めて少なく、現状を改善するために、学校や仕事をしていない近隣の主婦や高齢者をターゲットとし、利用率向上の方策を引き続き検討していく。	【評価できる点】 ・公共施設として、適切に市民へ施設を提供していることを確認しました。 ・利用率については、提案内容に基づき、施設近隣区で活動している団体へ営業活動等を実施するなどにより、目標を達成していることを評価します。 ・計画通り、利用促進の業務が行われていることを確認するとともに、利用者のニーズに合わせて運営の改善に取り組まれていることを確認しました。 ・また、未利用の時間枠の利用促進に向けて、新たな利用者の掘り起こしや営業活動を実施したことにより、新規利用に繋がったことを評価します。 ・様々な研修に参加し、職員育成に努め、施設運営に生かしていることを確認しました。 ・個人情報や人権の保護に向けて研修等を実施し、適切に業務が行われていることを確認しました。 ・日本の古典芸能の専門施設として、また、施設の有効活用に向けて、外国人対応を運営面で充実させるなど、施設で実施ができることから積極的に取り組んでいる姿勢を評価します。 【更なる取組を期待する点】 ・古典芸能の新たな愛好者を増やすため、広報や営業活動の強化を行うとともに、施設自体の魅力の発信などをさらに進め、新たな利用者や来館者の掘り起こしを行うことを期待します。 ・未利用の時間枠の活用を行い、施設の利用促進や指定管理料以外の収入確保だけでなく、施設の設置目的である古典芸能の愛好者の育成等にも繋げ、積極的に取り組むことを期待します。 ・庭園の清掃等、施設環境の維持等において、ボランティアスタッフの活用を継続するだけでなく、市民と協働での施設運営を継続して実施できる体制を整えることを期待します。 ・能楽等の次世代育成において、施設の近隣区域だけでなく、市域での能楽等の学習支援を継続的に行うことの検討を進めてください。
		■能楽等の専門施設として適切な貸出業務を遂行	実施	実施	-	能舞台として求められる利用上のルールを広く利用者に徹底させた。		
	2 開館時間・休館日、利用料金・割引料金・減免等の適切な設定	□開館日数	347日	347日	B	計画通り開館。		
		■開館時間	9時～22時 ※夜間区分の利用が無い場合は、事前に周知の上、17時で閉館	9時～22時 ※夜間区分の利用が無い場合は、事前に周知の上、17時で閉館	B	適切な開館時間の実施。		
		■利用料金を適切に設定	実施	実施	-	横浜市能楽堂条例のとおり実施。		
		■年間休館日をホームページで公開	実施	実施	-	毎月のスケジュールをHPに掲載。		
3 支払方法等の利用者サービスの向上による利用促進の実施	■来館による利用申請手続きだけでなく、郵送による申請及び振り込みによる支払いを可能にし、利用者サービスを向上	実施	実施	-	郵送による利用申請及び利用料金の現金書留による支払を可能にした。振込による支払いも可能にし、申請しやすいうようにサービスの向上に努めた。			
	4 利用率の適切な目標指標設定(コマ単位)	□能舞台	52%	52.3%	B			
□和室		40%	39.8%	B				
□茶室		12%	22.3%	A	新規でご利用された方がリピーターとなり、定期的にご利用いただいている。これにより利用率が上がった。			
5 諸室の機能ごとに戦略的営業を展開し、新規利用者の増加に向けた取組	■環境の整備と、より幅広い演出を可能とする取り組みを実施し、利用者増加を図る。また、市内の施設等で行っている愛好者団体等に戦略的に働きかけ、新規利用者の増加となる取組を推進	実施	実施	-	能舞台、和室、茶室等の機能に適していると思われる施設近隣区で活動している愛好者団体・グループに働きかけをし、今後の利用に向けた施設見学のご来館を促した。			
	6 知名度向上に向けた取組	■正門から建物までの道のりに竹灯籠を作成する等、横浜市の名所の一つになるような取組を実施	実施	実施	-	108本の竹灯籠を作成し、正門から玄関に続く道の脇に設置。 2月5日に完成記念の会を実施。海外で活躍するパフォーマーと久良岐能舞台初のユニット「KURAKI」によるパフォーマンスを披露。さらにお茶も提供し、90名のお客様が来館された。		
2 利用促進・利用者サービスの向上への取組及びアイデア・ノウハウの活用等		7 運営会議等によるPDCAサイクルの確立	■毎月の運営会議において問題点の改善討議と方針策定、実施	実施	実施	-	自主事業公演等の際の高齢参加者への対応、車椅子への対応、靴の取り換え対策等を実施。	
	■次年度事業計画への反映		実施	実施	-	改善点を次年度に反映。		
	8 利用者アンケート、利用者との会議等による利用者ニーズの適切な把握、PDCAサイクルの実施	■アンケート回収後、翌日集計、職員等の関係者への回覧実施	実施	実施	-	自主事業参加者及び貸館利用者を対象としたアンケートを実施。		
		■事業終了後2週間以内の事業報告書作成と関係職員への回覧	実施	実施	-	事業毎のお客さまアンケートを回収後、集計し職員に共有。改善点を次年度に反映。		
		■直ちに実施できる改善点はすぐに実施	実施	実施	-	頂いたご意見は職員に共有し、実施できる改善点はすぐに実施。		
	9 苦情・要望等への適切な対応、改善に向けた取組の実施	■利用者・見学者等からの要望や苦情は、直ちに主任、館長に報告し、軽微なものについては即時対応するとともに文化振興課に電話、メール等で報告	実施	実施	-			
		■苦情・要望は、月次の運営会議に報告、討議し、職員全員で共有	実施	実施	-	頂いたご要望は月次の運営会議で職員全員で共有し、対策を検討。		
		■苦情・要望を月次のモニタリング資料に掲載	実施	実施	-	頂いたご要望・ご意見は毎月モニタリング時に共有。		
10 利用促進に向けた、未利用枠と潜在的利用者のマッチング営業等の実施	■利用が少ない未利用枠の利用促進に向けて、潜在的顧客の掘り起こしとなる提案営業やお試し会などの戦略的な営業を推進	実施	実施	-	横浜市の公共施設・自治会・町内会・連合自治会・その他施設・団体等に適宜訪問、施設案内・販促を実施			
	11 施設見学希望者への積極的な対応、利用者への配慮の実施	■施設見学の市民への対応は、施設利用者の迷惑にならない範囲で全職員が積極的に対応	実施	実施	-	全職員が積極的に丁寧に対応。		
□来館者数		20,000人以上	約17,858名	C	新規顧客が増加してきているが、目標には届かず。			
12 施設内覧会等の実施による新規利用者の獲得に向けた取組	■久良岐能舞台の更なる市民の認知を促し、新たな利用者の獲得のために施設の案内・内覧会の実施を検討	実施	実施	-	事業参加者にも興味がありそうな方には積極的に施設のご案内を実施。 HPからの利用問合せが増加しており、施設見学についても積極的に勧めている。			
	13 未利用枠の有効活用に向けた積極的な営業活動の実施	■貸館のうち午前などの未利用枠が多い時間帯について、潜在的な顧客に対して、それぞれに適切な提案をするなどの戦略的な営業活動を実施	実施	実施	-	撮影等で利用する団体や詩吟の団体等に声がけてみたが、成果に結びつかず。未利用枠を埋めていく方策を今後も検討する。		

平成30年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

3 運営組織の構造、組織的な施設運営	14	現場運営に最適な現場管理の実施	<p>■能楽等の専門施設として必要な知見と実行のみならず、庭園についての知識を持って注意深く管理に当たり、職員全員が対応する</p> <p>■不足しがちな労働力をボランティアスタッフの協力を得て遂行</p>	実施	実施	-	職員に能楽鑑賞研修を実施。庭園の維持管理についても南部公園緑地事務所と連携しながら適切に実施。	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能楽等の伝統芸能の専門施設として相応しい職員育成のため、近隣能楽堂へ赴き、能楽公演での研修を推進し、能楽に関する知識や意識の向上を図った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年々、ボランティアスタッフの参加が少なくなっているのので、メンバーを見直し、再度ボランティアスタッフの募集をかけることを検討する。
	15	適切な人材の配置・職能	<p>■館長(統括管理責任者、事業企画):1名</p> <p>■職員・主任(現場運営管理責任者):1名</p> <p>■職員(施設運営等):5名</p>	配置	達成	-	適切な人員配置で運営。	
	16	積極的かつ適切な職員育成の実施	<p>■運営会議等を通じた能楽等の専門施設に相応しい認識の理解の促進や他施設での能楽鑑賞等を実施</p>	実施	実施	-	現場の全職員に研修を実施。	
	17	アドバイザーの配置・活用	<p>■能楽、日本舞踊・邦楽、古典芸能全般それぞれの分野について、専門家をアドバイザーとして委嘱し、専門施設としての一定の水準を確保するよう活用</p>	実施	実施	-	能楽講座や日本舞踊講座等の各講師にご意見を伺い、運営に反映。	
	18	市民ボランティアの配置・活用	<p>■公募による市民のボランティアスタッフ(サポートスタッフ)の事業企画、運営、庭園清掃等の各分野において活用を推進</p> <p>■市民協働の安定的な推進のため、ボランティア保険を付保し、市民と施設の利益となるように実施</p>	実施	実施	-	平成31年3月末現在のボランティアスタッフ登録:12名	
4 本市の重要施策を踏まえた取組	19	個人情報保護についての取組	<p>■コンプライアンスの遵守と個人情報保護の徹底</p> <p>□社内個人情報研修に基づき、確実な個人情報保護を実践</p>	実施	実施	-	社内規定及び横浜市の方針に基づく個人情報保護及びコンプライアンスの遵守に関する研修を実施。	
	20	情報公開についての取組	<p>■「各年度の業務計画書」「各年度の業務報告書」「各年度の休館日一覧表」のホームページでの公開、請求があった場合は事務所窓口において開示</p>	実施	文書の開示請求なし	-	管理運営に関する文書、施設の利用状況、貸出に関する情報等を、ホームページに掲載。	
			<p>■施設の利用状況等、施設の貸出に関する情報は原則としてホームページに当該月の6か月先まで公開</p>	実施	文書の開示請求なし	-	施設の利用状況等は6か月先まで公開し、詳細については3か月分を公開。	
			<p>■その他の開示請求については、事務所窓口で対応し、必要に応じて文化振興課と協議の上で対応</p>	実施	文書の開示請求なし	-	開示請求なし。	
	21	人権尊重についての取組	<p>□人権尊重の考え方を施設内で共有する人権研修の実施</p>	年1回	実施	-	3月28日実施。	
			<p>■法令等を遵守して適正な管理業務を遂行</p> <p>■公正、公平な管理</p> <p>■利用者の意思及び人権を尊重し、常に利用者の立場に立ってサービスを提供</p>	実施	実施	-	適切に実施。	
	22	環境への配慮に関する取組	<p>■施設内外の美観を維持するため、毎日、庭園内及び門前周囲の清掃を実施</p> <p>■環境上の問題になるような状況等を発見した場合、所管の南部公園緑地事務所と協議し、対応を依頼</p>	実施	実施	-	庭園内で樹木の倒壊や危険が予測された場合、南部公園緑地事務所と協議・対応を要請し、実施。	
23	市内中小企業優先発注についての取組	<p>■委託、購入、どちらの場合も横浜市内の中小企業に優先的に発注</p>	実施	実施	-	施設の維持点検、保守・修繕にかかる業務を市内の中小企業に委託。		
24	その他観光MICE振興につながる取組	<p>■横浜市文化芸術創造都市の実現に関わる観光MICE振興のため、恵まれた自然環境と一体的に魅力を形成している施設の特長と共に、来日外国人にも能楽等の伝統芸能の鑑賞の機会の提供を通じて、目的の実現に寄与</p>	実施	実施	-	9月22日に「ガーナ伝統音楽&舞踊」を実施。能楽公演や装束展示ではパネルやパンフレットに英語表記を追記。		
		<p>「ガーナ伝統音楽&舞踊」※再掲</p> <p>■実施時期</p> <p>□参加者数</p> <p>□顧客満足度</p>	年度途中で実施	9月22日 55名 100%	-	I 6 21のとおり。		
5	25	能楽等の伝統芸能に関する次世代の育成につながる取組の実施	<p>■横浜市中期4か年計画における課題である「子どもたちや新進アーティストの育成など、次世代育成の取組を充実していく必要に対応して、地域の子どもたちを中心とする、能楽等の伝統芸能に関わる次世代の育成を取組む事業を推進するため、今まで以上に地域との連携を深め、市民の参加を推進</p>	実施	実施	-	<p>・「小学校向け狂言鑑賞教室」</p> <p>・「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」の狂言鑑賞教室(アウトリーチ)の実施</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統芸能による子どもたちの育成については、社会貢献事業として毎年開催している小学校向け狂言鑑賞教室の実施と横浜市芸術文化教育プラットフォームのアウトリーチ事業への参加により、子供たちの育成に貢献した。 ・近隣小学校の2年生を対象に、当館にて能楽講座を実施。後日、能についての発表会に職員が出席し、指導することで、伝統芸能に関わる次世代の育成に貢献した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化社会の中、伝統芸能の継承に最も大切な次世代の育成のため、来年度以降4歳〜7歳くらいの子供たちを対象とした講座の実施を検討する。

平成30年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		H30年度計画		実施状況		評価	
Ⅲ施設管理目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
1 施設・設備の維持保全及び管理	1 施設・設備・備品等の維持管理・保全業務の実施	■業務の基準に従い、適切かつ確実に業務を実施	実施	実施	-	施設巡回保守点検 4回、玄関鍵穴補強調整、座テーブル修理、及び炉壇電熱器修理、男性用トイレ水量調節、全館天窗蛍光灯点検、能装束の自然劣化による綻び修繕とシミ抜き実施。	【成果】 ・庭園等の美観維持のための清掃管理は、職員による適切な維持管理活動のほか、久良岐能舞台サポートスタッフ(市民ボランティア)や磯子土木事務所所管のグリーンサポーター(ボランティア)も参加して実施し、活発な環境維持推進が行われた。また、公園を所管する南部公園緑地事務所に働きかけを行い、巨大化した樹木の伐採や剪定が実施され、適切な庭園管理を行った。 【課題】 ・能舞台の品質維持のため、宮大工等による専門家の点検と維持作業を検討する。
	2 庭園等の周辺環境の維持管理・保全業務の実施	■安全で安心に利用できる久良岐能舞台の庭園環境を実現するため、所管の南部公園緑地事務所と緊密な連携を行い、快適な環境が保全されるよう対応	実施	実施	-	樹木の伐採、剪定を南部公園緑地事務所に要請し、実施。竹林整備、落葉堆積物除去、上・下池浚渫、老朽化・危険樹木等伐採、剪定、庭園刈込み、庭園清掃を実施。	
	3 警備・安全管理業務の実施	■見回りの実施等、敷地全体の犯罪や火災等への警戒と事故等の未然防止活動と安全管理を実施	実施	実施	-	見回り: 日中 適宜実施、夜間 1時間毎実施。	
	4 専門的な見地に基づく能舞台、能装束等所蔵品の管理実施	■能舞台の日常点検を実施 □専門家に意見を仰ぎながら能装束の虫干し実施、定期的な防虫剤交換	実施 年1回	実施 9月2日実施	-	毎日清掃時及び利用後に点検を行い、異常の有無を確認。 能装束を保管している鏡の間の除湿機を常時稼働。和筆管内の水取り剤、防虫剤を適宜交換。	
2 小破修繕への取組	5 日常点検等による、きめ細やかな施設管理に基づく予防保全の実施	■毎日の清掃時に各部分の目視による点検を行い、変化が見られる場合はより詳しく点検を行い、その状況に応じて対応	毎日	実施	-	日常点検に基づく予防保全を適切に実施。	【成果】 施設の維持のため、障子の張替えや排水路・排水溝の点検・池の堆積物除去等、長寿命化のための維持管理を実施。職員自らの手で行うことで、費用の縮減だけでなく、不具合や破損についてすぐに発見することができている。 【課題】 ・施設の老朽化が進んでおり、指定管理者で対応できることや日常点検は適切に実施しているが、引き続き市と連携し、順次設備更新等を行っていく。
	6 施設長寿命化の観点に基づく施設管理の実施	■施設を長寿命化する観点から、少しの不具合も見落とすことなく、直ちに適切に対応	実施	実施	-	清掃時や巡回時に建物・備品についてもチェックをし、軽微な不具合であれば自分たちで速やかに修繕を実施。時間がかかる場合は、利用者に声をかけ、触れないように呼びかけたりした。	
	7 迅速かつ臨機応変な施設管理・修繕対応の実施	■施設のいずれの部分においても不具合や破損等が発見された場合は、その状態に応じ適切に対応 ■小破修繕の対象となる場合は、できるだけ早く施設利用の妨げにならないように対応	実施 実施	実施 実施	-	障子破れや舞台上の格子外れ等、不具合や破損が発見された場合、利用者の妨げにならないよう迅速かつ適切に対処。	
	8 小破修繕の適切な実施	■職員が修繕対応する場合、施設利用者の妨げにならない時、施設利用が無い時、或いは休館日に実施 ■専門業者に委託する場合、市内の複数の業者から見積りを徴収し、最低価格の業者に委託 ■現に設置されている設備の場合は同一製造者の市内代理店等を基本とし、参考の為その他の業者からも見積りを徴収	実施 実施 実施	実施 実施 実施	-	利用者の妨げにならないよう適切に対処。 トイレの水量調節や誘導灯バッテリー交換等、専門業者に委託する場合は、適切に業者選定の上、委託。	
3 事故防止体制・緊急時(防犯)の対応・感染症対策等衛生管理	9 庭園内の安全管理、火災予防の実施、危機管理対策	■大きく成長した樹木の多い庭園を持ち、純木造の建物の施設であるため、安全管理や火災予防など、全体的な観点から危機管理対策を推進	実施	実施	-	・庭園内にある老化した樹木や警戒を要する枝、降雨時の滑りやすい階段や斜面で事故が発生しないよう、予防措置を実施。 ・災害の予測に基づく対応・対策・訓練を実施。 7/9磯子消防署指導による防災訓練、AED取扱い訓練 10/15 火災受信機操作訓練、消火訓練 1/21 火災受信機操作訓練、消火訓練	【成果】 ・磯子消防署指導による防災訓練を実施し、緊急時の対応について今一度見直しを行った。 ・庭園における事故を未然に防止するため、巨大化樹木の伐採等、南部公園緑地事務所と緊密に連携して対処した。これにより、事故の防止だけでなく、景観の維持にもつながっている。 【課題】 ・強風雨等、激甚災害化する天候で被害を受けやすい谷戸地形にあるため、効率的な対応処置方策について今後も検討を行う。
	10 危機管理マニュアルの整備と非常時対策訓練の実施	■久良岐能舞台及び敷地等における災害の予測に基づく対応マニュアルの整備と、対策・訓練を実施 ■施設内及び庭園内における事故等の発生を未然に防止するため、危険箇所の早期発見や危機発生の可能性に注意し、日常的に点検し、対処	実施 実施	実施 実施	-	横浜市災害対策に基づき、危機管理マニュアルの整備を推進。 施設内及び庭園における事故発生を未然に防止するため、危険箇所の早期発見、危機発生の可能性を日常的に点検、対処。	
	11 緊急時(事故・犯罪の発生時)の対応方針、対策	□事故等発生時の対応について、防災訓練を全職員で実施	年2回	7月9日、8月28日、10月15日、1月21日実施	-	・10/15、1/21職ニチナンメンテ指導による火災受信機操作の実施 ・8/28シェイクアウト訓練を実施。 ・7/9磯子消防署指導の下消火・AED取扱い前講習会体験実施	
	12 感染症対策等の衛生管理の実施	■緊急事態が発生した場合は、直ちに必要な措置を講じるとともに、文化振興課を含む関係者に対して緊急事態発生を旨を通報すると共に、市と協力して原因調査を実施 ■日常的に衛生管理を行うため、玄関の分かりやすく目に付くところに消毒薬を配置 ■新型インフルエンザ、感染性胃腸炎(ノロウイルス等)等の感染や拡大を防ぐ目的で、保健所の指導を受けて対応マニュアルを整備 ■汚物(嘔吐物や糞便)については、適正な方法で処理し、消毒を実施 ■衰弱した鳥や動物、死亡した鳥や動物を発見したときは、磯子区福祉保健センターに対応方法を相談	実施 実施 実施 実施	実施 実施 実施 実施	-	防災訓練において対応措置の実施訓練を行った。 玄関入ってすぐの待合室に消毒薬を配置。 感染症対策のマニュアル整備を推進。 感染症対策等の衛生管理は適切に実施。 鳥の屍骸を発見した際は、資源循環局に報告し、専門業者に処理を委託。	

平成30年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

4 防災に対する取組	13	緊急時の連絡体制・役割分担(職員体制)	■久良岐能舞台緊急連絡網を作成し、文化振興課に提出するとともに、全職員に周知徹底	実施	実施	-	久良岐能舞台緊急連絡網を作成し、文化振興課に報告すると共に、全職員に周知。	【成果】 ・防災対応として、磯子消防署の指導を受けて年2回の定期的な消防・防災訓練を実施、全職員が円滑な対応ができるように継続して取り組んでいく。 ・消防署指導の防災訓練のほか、設備点検を委託している会社指導の下、消火・通報・避難・火災受信器取扱の訓練を全職員で実施し、災害に備えた。今後も継続して取り組んでいく。 【課題】 ・施設の収納スペースに限界があることから、災害発生時の十分な備蓄はできておらず、今後に向けた検討を進めていく。
	14	自衛消防組織の結成、平常時の防火・防災対策	■甲種防火管理者を選任すると共に久良岐能舞台防災計画書を作成し、所轄の磯子消防署に提出	実施	実施	-	自衛消防組織と平時の消火・防災対策の実施。	
			■自営消防組織を結成し、日常の防火、防災に努める □横浜市防災計画に基づき、定期的に消防、防災訓練を実施	実施	実施	-	全員が消火・避難・連絡に当たれるように訓練を実施。 年2回 7月9日、8月28日、10月15日、1月21日実施 Ⅲ 3 10のとおり。	
	15	災害発生時の取組、施設状況の把握	■直ちに消防署等に通報すると共に、緊急連絡網に記載された通り関係者に対して緊急事態発生を通報し、必要な措置を講じつつ状況の把握に努める	実施	実施	-	災害発生時の連絡、状況把握等について、必要な対応がとれるよう訓練を実施。	
	16	災害時等の市への協力	■災害等が発生した場合、市に協力してその原因調査を行う ■大規模な災害等が発生し、行政機関において災害対策本部等が設置された場合は、その指示に従うと共に、行政機関の災害対応に協力	実施	実施	-	異常なし。 防災訓練において、防災伝言ダイヤルに連絡訓練を実施。	
5 その他施設管理に関する事項	17	光熱水費削減努力	■施設稼働率の上昇に伴い光熱水費が増加傾向にあるため、施設利用の無い時間は原則として消灯、空調機停止など、電力削減に努める	実施	実施	-	施設の利用がない時は消灯したり、適切な空調管理を行う等して経費削減に尽力した。	
			□光熱水費	年間150万円	1,538,590円	B	目標には届かず。	【成果】 ・利用のないときは電気を消す、空調管理を適切に行う等の節減努力を行ったが、目標には届かなかった。 【課題】 ・稼働率の上昇だけでなく、竹灯笼を設置したことも電気代が上がってしまった原因と思われる。竹灯笼については、点灯日を決めて運用するようにする。

評価項目		H30年度計画		実施状況		評価	
IV 収支	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
1 適切な収支構造及び収支バランス	1 収支構造の検証	■厳しい収入と欠かせない費用のバランスについて、常にチェックを行い、不適切な収入とならないように推進	実施	実施	-	・伝統芸能愛好者の育成に要する費用は、講座在籍者が増加した結果、改善した。 当期講座収支実績 -579,500円(前年度比:72.8%)	【成果】 ・久良岐能舞台はまだ知名度が低いということと、交通の便が良くないという課題点を持っているため、多くの事業で望ましい収支バランスを確保することが難しい状況となっている。そのため、極力経費を抑制して事業を実施し、収支のバランスに近づける努力をした。 ・指定管理料のみに依存しない収支構造構築のため、柱となる施設利用料の増収を図り、施設周知の向上を図ったが、前年より増収したものの、予算額を達成することはできなかった。 ・自主事業収入の不振を補いきれず、収支全体でも赤字となってしまった。 【課題】 ・経費削減には限界があるため、支出だけではなく、収入の面でも自主事業収入の改善方を検討する。 ・自主事業については今後、能楽愛好者減少により受講生が減少することが見込まれ、催事については人気の高い狂言等の公演でも消防法の関係で、限られた人数しか来場いただけなく、収入の増加を図るのは困難な状況。席数を増やす取り組みを職員で模索している。 ・なるべく支出を抑えるための取り組みとして、チラシやチケット、プログラム等は職員自らの手で作成したり、音響や照明のオペレーターは社内のスタッフに依頼する等、経費削減に努める。 ・講座受講生が増えても欠席する生徒が多く、収入に結びついていない。対策を検討していく必要がある。
	2 予算・決算、収入・支出のバランス	■予算は守るべきガイドラインとして毎月の月次決算において確認し、四半期ごとに収支が適切にバランスするように運営 ■決算は月次、四半期、通期と行い、年度末においては目標とする収益が確保できるように実施	実施	実施	-	予算の実施に当たってはできる限り費用抑制に努め、全体として収支の均衡に努めた。 予算/決算、及び収入/支出はいずれも自主事業収支によるバランスが崩れた結果、赤字に傾いた。	
	3 自主事業収支の適切なバランス	■事業費見積の参加者数を確保するために必要な条件を検討し、それぞれの自主事業の収支の適切なバランス確保に努める	実施	実施	-	前年度に比べて改善はしたが、伝統芸能の集客力が低下している。 自主事業全体収支実績-3,095,676円(前年度比:152.2%)	
2 指定管理料のみに依存しない収入構造	4 指定管理料以外での収入確保に向けた構造づくり	■施設稼働率が高いものの、諸室別の利用率は低い部分があるため、改善を検討 ■自主事業については、主に講座の参加料収入が伸び悩んでいるため、改善を検討	実施	実施	-	施設の周知を図る広報の成果が得られた。 新規利用団体・・・24団体増	【成果】 ・婚礼写真の前撮り等、多様な新規利用者により、未利用枠の利用状況が改善されてきている。 ・発表会等の会場を探している利用団体に声をかける等、貸館利用者増加のための営業の結果、新規利用者が増加した。 【課題】 ・自主事業アンケートから得られる情報は、より自由で幅広い種類の事業が望まれている。頂いたご要望は、久良岐能舞台の施設特性とのすり合わせを行い、事業に反映させることのできる企画の推進を進めていく。
	5 戦略的かつ積極的な貸館収益の増加に向けた取組	■諸室時間枠別にみた未利用枠の稼働を目標に、付加価値のある貸館営業を潜在的顧客に向けて多様な戦略的営業として展開し、貸館収益の向上を図る	実施	実施	-	伝統芸能にとらわれず、能楽や茶室など和の施設特性に適する新規の利用者にも営業的に働きかけ、貸館収益の向上を図る。 婚礼写真前撮りやWebビデオの撮影等、多様な新規利用者を獲得。	
	6 マーケティングを活用した事業推進による自主事業収入増加に向けた取組	■自主事業アンケート及び利用者に関するデータベースの分析で得られる情報により、選択的に事業収入の増加に寄与する取組を推進	実施	実施	-	自主事業アンケートから得られる情報からは、より自由で幅広い種類の事業が望まれており、久良岐能舞台の施設特性とのすり合わせにより事業に反映させる企画の推進が必要。	
	7 企業協賛、助成金等の活用によるファンドレイジングの実施	■自主事業に対する地域の企業等の協賛を開発し、事業収益の改善を図る ■芸術文化振興基金、地域創造等の助成金を獲得するように企画し、事業が推進しやすい資金環境を整備	実施	実施	-	協賛は得られず。 助成金は得られず。	

平成30年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

3 経費削減等効率的運営の努力	8 「選択と集中」による運営経費の抑制と利用者ニーズへの対応	■施設運営に関するデータから見る傾向及び利用者に関するニーズの傾向から、特徴的なニーズの推進及び、施設の使命としてなすべき事業を中心に運営経費の選択と集中を図る	実施	実施	-	中心的自主事業として能楽等の講座の運営を選択し、施設の使命として運営を推進。 自主事業全体の約4割もの費用を集中し、次世代の伝統芸能愛好者の育成を図る。	【成果】 ・久良岐能舞台としてなすべき事業、望まれている事業を中心に実施。 ・利用者アンケート等をもとに職員全員で自己評価と点検を実施し、課題については改善するよう努めた。 ・日常的運営においては、各種業務記録、日報などを基に定期的なミーティングを通じて検討し、直ちに改善を実行した。 【課題】 ・伝統芸能以外の分野についても視野に入れ、事業内容について検討していく。伝統芸能への長期的な対策として、来年度以降は「四歳児からの能楽講座」の実施を行う予定。伝統芸能を物心がつく前に経験してもらうことで、歳を重ねた後も親しみを持ってもらいたいと考えている。
	9 自己点検・評価による効率的運営の実施	■利用者アンケート、事業参加者アンケート、事業ごとの事業実施報告書等による自己評価と点検により改善点を抽出し、改善を推進	実施	実施	-	自己点検・評価による効率的運営を適切に実施。	
		■日常的施設運営においては、各種業務記録、日報などを基に定期的なミーティング等を通じて検討し、直ちに改善を実行	実施	実施	-	日常的運営においては、各種業務記録、日報などを基に定期的なミーティングを通じて検討し、直ちに改善を実行。	

評価項目		H30年度計画		実施状況		評価	
その他	特記(提案事項要旨)	達成指標	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
1						【成果】 【課題】	【評価できる点】 【更なる取組を期待する点】

評価項目		H+E218年度計画		実施状況		評価	
総括	特記(提案事項要旨)	達成指標			説明	自己評価	行政評価
						<p>●文化事業の総括 伝統芸能の愛好者育成のために行っている「久良岐能楽講座」は高齢化により、参加者が減少していくことが見込まれる。年々、受講者を獲得するのも四苦八苦しており、これまで通りの募集方法に限界を感じている。新規講座受講生獲得のために、これまであまりアプローチをしていなかった地域にも積極的にアプローチをしたり、SNSでの情報発信を行う等、裾野を広げて広報活動を行う必要があると考えている。</p> <p>●施設運営の総括 まだまだ久良岐能舞台を知らない方が多く、磯子地区にお住まいの方でも初めて来館した、施設があることを知らなかったという方が多かったため、KURAKI発の音楽ユニットを結成したり、竹灯笼を設置する等、今年度は施設の知名度向上に特に力を入れて取り組んだ。その結果、初めて来館される方が増加した。1度きりではなく、今後もリピーターとなっていたらよい。バラエティーに富んだ事業の実施や施設環境の整備を行っていく。</p> <p>●施設管理の総括 庭園の樹木の巨大化等により安全や環境への懸念があった際は、南部公園緑地事務所と連携して伐採等の対応を行い、適切な環境を維持することができた。また、施設の外観改善や訪れやすい雰囲気づくりのために庭園の環境整備に力を入れて取り組んだ。</p> <p>●収支の総括 小破修繕は職員自らの手で行ったりして、なるべく支出を抑えるよう取り組んだ。収入についても、講座受講生の獲得や施設利用者増加のための広報活動を行い、指定管理料のみに依存しない体質への向上は図れた。日舞、能楽講座の収支が厳しいため、対策を立てていく必要がある。特に能楽講座は受講生は増加したものの、欠席者が多いため収入に結びつけることができていない。講座受講のルールや支払いの仕組み、なるべく欠席しないような対策を検討していく。</p>	<p>第3期指定管理期間の3年目として、提案内容の実現より良い施設運営を行うために取り組んでいることが確認できました。特に、子どもを中心としたすそ野の拡大に積極的に取り組んでいることと利用団体の活性化に向けた取組を継続していることを評価します。</p> <p>事業に関しては、市民の方が能楽等の古典芸能に親しむことのできる事業を実施するだけでなく、施設の特性を生かして能や狂言、古典芸能等の公演を行っていることが確認できました。身近な能楽堂で能楽等の鑑賞ができることは、市民からの期待もあるため、事業の効果を検証しつつ継続を期待します。また、久良岐能舞台の近隣区の小学生を対象とした「小学校向け狂言鑑賞教室」においては、多くの子どもたちに本物の能舞台で本物の狂言鑑賞を行う機会の提供を継続していることを高く評価します。</p> <p>一方、能楽や日本舞踊の講座等は、広報手法の見直しやターゲットの分析、利用者等のニーズに合わせた対応などの再検討を進め、公共施設として古典芸能に関わる愛好者の拡大に向けたさらなる寄与を期待しています。</p> <p>施設運営においては、施設の魅力を積極的にPRすることなどにより、施設自体の愛好者を取り込むことや、新たな利用者の掘り起こし、リピーターの確保等に努めてください。</p> <p>施設管理に関しては、庭園の維持管理等を中心として、きめ細やかな対応がなされていることを確認しました。また、ボランティアスタッフが庭園管理に関わるなど、地域の文化施設として市民協働を進めていることを評価します。今後も、職員間や本市との情報共有を徹底することにより、施設の長寿命化を見据えた維持管理を継続して行ってください。</p> <p>第3期指定管理期間の使命の一つである、文化的 commons の形成をさらに進めるため、地域や横浜地域の古典芸能の拠点として現状以上に多くの市民が訪れ、愛される施設となることを期待しています。</p>